

春、新入職員を迎えて

桜が咲き誇る3月末をもって、長きにわたり小金井市を支えていただいた10名の方が定年退職されました。また、4月より22名が新しく小金井市の職員となりました。新入職員の皆さんには、まずは行政としての仕事、配属先の仕事をしっかり覚えていただくことからはじめ、ぜひとも貪欲に学ぶ姿勢をもって取り組んでいただきたいとお伝えしたところです。



世界全体もそうですが、いま日本社会は混沌としてきました。人口減少、高齢化、格差の広がり、孤独・孤立化、地域コミュニティの希薄化、財政問題と数え上げればキリがありませんが、これらの問題は我が小金井市にも当てはまります。4月1日時点では増加に転じましたが、ずっと微増を続けてきた小金井市の人口が11月から5か月連続で微減となっていました。また、国平均よりは低いものの、我が市でもすでに高齢化率は21%を超え「超高齢社会」を迎えています。そのような中、市民ニーズの多様化とともに、まちづくりの進展、計画に基づき市民福祉の増進に努めていかねばなりません。市役所職員一人一人が仕事の質を上げて取り組むことが求められます。



新入職員へは、4つのこと『変革マインドを持った職員となること』、『「守破離」の考えをもって仕事に取り組むこと』、『難しい問題や状況に直面しても常に「ネアカ」であること』、『市民と積極的に接するように心掛けること』を伝えました。

将来の小金井市役所を担い、市民のために活躍できるよう、人材育成に努めて参ります。